

# 奥会津 だより

2002年初冬  
第15号

## 蘇る手仕事

冬の夜 空にオリオン 描かれる

斎藤彩奈さん (昭和)

撮影：平田春男

### 奥会津つれづれ

奥会津は歳時記の郷である。四季の自然豊かなこの地に育まれた年中行事が春夏秋冬それぞれにまだ残っている。生活に密着した民俗文化が日本中で失われつつある今、奥会津に脈々と伝わる歳時記は、この地に暮らす人の心であり、宝である。

正月、盆、神楽、祭礼などの歳時記は、農業、林業などと密接な関わりを持っている。自分らに恵みをもたらしてくれる自然の神々に感謝し、明日の糧を得られるよう祈る。そうした奥会津の心をもって親類縁者や集落で助け合いながら、歳時記を代々引き継いできたのである。葬式も近隣縁者が協力して行っているところが多い。悲しみに暮れる家族をいたわる暖かい心から、共同で行う葬式の形が生まれてきた。

このように奥会津の民俗・生活文化は、自然と共生し、神々や先人を敬い、人同士が肩を寄せ合い助け合うことで継承されてきたのだ。

地域の文化は奥会津が奥会津であるためになくしてはならないものである。今も続けられている民俗伝承文化を形骸化させてしまうことのないよう、先人が育んだ崇高な精神をもう一度思い出してみたい。「初心忘るへからず」である。

# 2,000m級の山々が迫るパノラマビュー!

会津高原 高畑スキー場 (伊南村)



家族で楽しめる広く緩やかなコースから、3.5kmのロングコースまで、大満足の10コース!

モーグル用のハードバーンも完備しています。

スノーラフティング・スノーチュービングでときめきの体験。スノーシュー体験ツアーもあります。

導入された降雪機が、パウダーゲレンデを維持しています。



会津高原 高畑スキー場

12月21日オープン!

お問い合わせ

南会津郡伊南村大字大桃字一の間々20-3  
tel. 0241-76-2231 fax. 0241-76-2233

オープン日のお知らせ

- \*12月22日OPEN/フェアリーランドかねやまスキー場 (tel. 0241-54-2022)
- \*12月21日OPEN/尾瀬檜枝岐温泉スキーセンター (tel. 0241-75-2351)
- \*12月14日OPEN/南郷スキー場 (tel. 0241-73-2111)
- \*12月13日OPEN/たかつえスキー場 (tel. 0241-78-2220)

## Four Season エコ ツーリズム in TAKAHATA

クローズ期も積極的に活用しよう、地元大桃区と心のふるさと創造計画実行委員会では、「四季を通じた魅力ある里創り」をスローガンに創造的な取組を展開しています。

### 高畑山へメロカリス公園創り



ニッコウキスゲの一種・ヘメロカリスは1年に5〜7倍に増える宿根草で、遊休地を利用して増やした株が今では2万株にもなり、来年度からスキー場に移植する計画。5〜6年後には100万株のヘメロカリスの花が見られることでしょう。

### 高畑山蝶公園創り



高畑山に国蝶「オオムラサキ」を飛ばそうと、オオムラサキの幼虫の餌となる「蝦夷エノキ」を500本ほど植林。数年後にはヘメロカリスの可憐な花と共にオオムラサキの姿を楽しむことができることでしょう。

### 高畑山きのこの里創り



高畑山の間伐材を利用して昨年からのきのこの植付を実施。体験者を募ってマイタケ・くり茸・しいたけ・キクラゲ等の植えつけをしています。秋にはきのこの収穫体験と収穫祭を行っています。

### 高畑雪の祭典「モアイ雪像誕生祭」



高畑スキー場に巨大モアイ雪像を誕生させようと、昨年は11チームが参加。第2回「高畑雪の祭典2003」は1/25(土)に実施されます。たくさんさんの参加を待っています。

奥会津

とっておきの風景



# 宝物つて何？

今年はいつもの年より随分早く冬が来たようですね。もう奥会津はあの美しいモノトーンの世界が変わったのでしょうか？ 齋藤清の版画の世界がそのまま目の前に広がっているのですから、雪のない地域に生まれ育った私には、奥会津の冬との出会いは驚きと感動に満ちたものでした。季節とともに景色がこんなにも変化するなんて、これもまた奥会津の宝物の一つだと思いませんか？

## 雪の上からしか見えない景色

昨年の2月、館岩マタギ体験分校に参加しました。曲屋でのカンジキづくりとウサギの巻狩りを体験させていただきました。除雪されていない林道をカンジキを履いて歩いていくと、足元に道路標識の上端が少し頭を出していました。そのとき私は、自分がいつもより2mも高い位置に立っていることに気付いたのです。そう思っ

て周りを眺めてみると、葉を落とした木々の枝を透かして、遠くに駒ヶ岳が姿をあらわしていました。雪の上からしか見えない景色が奥会津にはどれほどあるのでしょうか？ 雪が降ると毎年出現する自然の展望台から、皆さんはどんなとっておきの風景を眺めているのでしょうか？ 奥会津の自然は本当に奥が深い！ 季節ごとに色合いを変えるだけでなく、視点の位置まで変えてしまうのですから、何度訪れてもいつも新鮮な感動に出会えるのも当然といえば当然でしょう。

## ヤマネに会ってみたい！

皆さんはヤマネという動物を知っていますか？ 人の手のひらに乗るほど小さな哺乳類です。

本州、四国、九州の低山帯から亜高山帯の森林に広く分布していますが、10cmに満たない小さな体で、寒冷期には体温を0℃近くまで下げて、半年間も飲まず食わずで冬眠するため、古くから珍獣とされて天然記念物にも指定されています。主に小型の昆虫類を食べているため、餌と



奥会津自然再発見プロジェクト担当

(株)ブレック研究所

松井孝子

写真：雪の中で冬眠中のヤマネ

写真出典：「日本動物大百科 哺乳類」

（平凡社）

（平凡社）

## 作品募集

### 第7回奥会津フォトコンテスト

豊かな自然・雪の里の郷土文化・土地の人の生活など、写真・文化の郷奥会津で捉えた写真作品を募集します。被写体は自由。

- ◆ 募集作品 個人・単写真部門 グループ写真部門
- ◆ 応募締切 2002年12月25日（当日消印有効）
- ◆ 受付期間 2002年10月より
- ◆ 審査発表 2003年1月15日～20日
- ◆ 発表写真展 2003年2月22日（土）～  
三島町・「尾瀬街道みしま宿」  
個人部門グランプリ1名 賞状・賞金10万円等  
その他グループ部門とも多数の賞があります。
- ◆ 賞 ※奥会津9ヶ町村内で撮影した写真に限ります。

◎応募・問合せ先

「奥会津 写真・文化の郷」事務局 (株)フレイムマン・フォトテクノ内  
〒106-0004 東京都港区南麻布1-17-1  
TEL 03-3452-1327 fax 03-3452-1328

## 奥会津フォト・ツアー 11/3・4・5



### 秋雨も風情の

つむじ倉滝・矢野原湿原等を撮影地に

第4回を数えるフォト・ツアーの参加者は約60名。三島町交流センターホールでのスライド上映や懇親会で初日の幕を開けました。翌日予定していた美坂高原の早朝撮影はいきなり雪で中止になったものの、晩秋の雨もまた風情と、雪化粧した紅葉と時折の陽光に駆り立てられるようにシャッターを切っていました。

## 南郷中学校3年 五十嵐和也君 五十嵐弘果さん

橋本…中学卒業後の計画は？

和也…勉強したいので、会津高校を目指したい。文武両道の学校だと聞いていたし、教員になりたいと思っています。部活は剣道ですが、陸上で自分を鍛えるか、剣道を続けるか悩んでいます。

弘果…バレーボール部と合唱部にいましたが、運動が苦手なので好きな音楽を続けたいです。

橋本…後輩や大人たちに望むことはありますか？

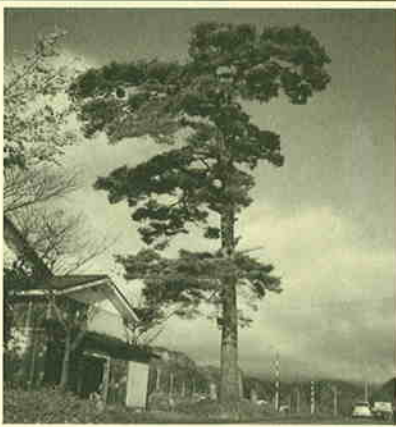
弘果…生徒総会で行事や予定を話し合うのですが、一部の人が考えていないので、もっと発言したり少しでも学校行事などに興味を持って欲しいと思っています。

和也…何かあると村の人たちは協力的です。保護者の方もたくさん手伝ってくれます。橋本…人間関係が緊密なのはいい関係ですね。中学生活で一番印象に残ることは何ですか？

弘果…学校の文化祭です。和也…スキーでクロカンをやっています。瞬発力がないから、持久力がんばろうと。(笑)



橋本…精神的な支えになるものを持つことは大切だと思うんですが、弘果…はじめは書道が嫌いだったのでですが、一度ほめられたことがあって、それから一生懸命やるようになって今も続けています。



### 木物語 下福井の一本松 (只見町)

和也…本当は走るのが好きじゃなかったんですが、5年生の時に陸上大会に出て激戦でやっとブービーを保ったんです。1,000mのブービーから抜け出そうと頑張ったら中間くらいまで行ったら。練習すれば結果が出ると思えたので、中学でも陸上部で駅伝やつてます。

橋本…和也君と弘果さんは将来はどういう先生になりたいですか？

和也…子どもに親んでもらえる小学校の先生になりたいです。

弘果…私は、小学校、中学校、保育所の先生とか人と接する職業に就きたいと思っています。いろんなことにも挑戦してみたい。だから今日もここに来ました。

和也…この間の福島駅伝のリベンジをします。やっぱりチャレンジ。南郷は住みやすいところだから、都会へは行きたくないです。

橋本…自然が素晴らしいこの地域での生きがいを見いだし、これからも心身を鍛え学び経験を積んでください。試験前に時間をさいて来てくれて本当にありがとう。

只見駅から国道289号線を5キロほど南下した道の際に、特長のある一本松が立っている。南への往路・復路を慰めてくれる松である。左右に庚申塚と巳待塔を従えて、古くは一里塚の役目も果たしてきたようだ。近くに住む酒井さんは、毎年暮には松飾りを欠かしたことがない。波乱万丈の生をつないできた一本松への敬意と、要害山の水久保城を指す一本の道の間にあつて、重要な道標とされたと推測できる歴史への憧憬であろうか。200年の歳月を生きたこの松の景観は、今も道行く人々の心にしっかりと刻み込まれている。



## 奥会津賢歌

東京都 曾根 秀保さん

奥会津花の芒に迎えられる  
山肌を雲のぼり行く蕎麦の花  
九十九折れ山路の芒に送られて

## ホームページが面白い!

Yahoo!のトップ頁から「奥会津だより」「歳時記の郷 奥会津」で検索、ヒットします。

●是非、お気に入りに登録してください。

●週毎に更新されるホットニュースにご注目。

掲示板でご意見やご感想の書き込みを待っています。



<http://www.okuaizu-style.com/tdrsk/>



### 表紙の言葉

#### 金山のうるし蠟燭しぐほり

金山町の漆蠟の生産は昭和30年代を最後に途絶えていたが、このほど蠟しぐほり技術が再興され見事な蠟燭が出来上がった。国内で漆蠟燭を生産する唯一の地域として、現在注目されている。厳しい手作業がこの技術を支える。